

■環境仕様書

[]内はTouring/Limited/Limited Style EditionのAWD車の数値

グレード名		クロスレック			
		Touring	Limited	Limited Style Edition	Premium S:HEV Premium S:HEV EX
車両型式		5AA-GUD[5AA-GUE]			5AA-GUF
エンジン	エンジン型式	FB20			FB25
	総排気量(cc)	1995			2498
	種類	2.0L 水平対向4気筒 DOHC 16バルブ デュアルAVCS 直噴			2.5L 水平対向4気筒 DOHC 16バルブ AVCS 直噴
	燃料種類	無鉛レギュラーガソリン			
駆動装置	駆動方式	FWD[AWD(常時全輪駆動)]			AWD(クラッチ開放制御)
	変速機	リニアトロニック			
車両重量(kg)		1550[1600]	1560[1610]	1570[1610]	1660
燃料消費率	JC08モード	燃費値(km/L) (国土交通省審査値)◆	19.3[18.8]		22.7
		CO ₂ 排出量(g/km)	120[123]		102
	WLTCモード	燃費値(km/L) (国土交通省審査値)◆	16.4[15.8]		18.9
		CO ₂ 排出量(g/km)	142[147]		123
		市街地モード(WLTC-L)	13.6[12.9]		15.4
		郊外モード(WLTC-M)	16.6[16.0]		20.6
		高速道路モード(WLTC-H)	17.9[17.3]		19.7
	参考:燃費基準達成レベル	2030年度燃費基準70%達成[2030年度燃費基準65%達成]			2030年度燃費基準 80%達成
環境性能情報	適合規制	平成30年規制			
	低排出ガス車認定レベル	平成30年基準50%低減			
	試験モード	WLTC			
	基準値	CO(g/km)	1.15		
		NMHC(g/km)	0.05		
		NOx(g/km)	0.025		
		PM(g/km)	0.005		
PN(個/km)		-		6.0×10 ¹¹	
騒音	適合規制	平成28年規制			
	加速騒音規制値(dBA)	70		68	
エアコン冷媒の種類(GWP値注2)/使用量(g)		HFO-1234yf(1注3)/425		HFO-1234yf(1注3)/450	
車室内VOC		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)			
環境負荷物質の削減	鉛*1	自工会2006年目標達成(1996年時点の1/10以下)			
	水銀*2	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止)			
	六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)			
	カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)			
リサイクル	リサイクルし易い材料の使用	バンパー、インパネ、ドアトリム等にリサイクルし易い熱可塑性樹脂を多用			
	再生材の使用	一部の樹脂部品に市場回収リサイクル材を、防振防音材に古衣類・縫製端材・古紙を再利用			
	材質表示	100g以上の樹脂部品、200g以上のゴム部品に材質表示			
環境負荷物質使用状況等	解体性を考慮した設計	電気系・ハーネスの取り外し容易化、バンパーの材質を取り外し前に確認できる位置に表示			
	鉛	使用部品:電子基板・電気部品のはんだ、銅合金(ブレーキ配管継ぎ手)等			
	水銀	全廃済み(自工会目標適用除外部品も含む)			
	六価クロム	全廃済み			
	カドミウム	全廃済み			

【クラッチ開放制御】トランスアクスルのAWD機構(電子制御カップリング)に、後輪への駆動力を切り離す制御を採用しました。AWD走行を必要としないとき車両が判断したときは電子制御クラッチの応答性の良さを活かして、クラッチを瞬時に自動開放することで後輪へのトルク伝達をカットします。これにより、後輪への駆動力伝達損失と電子制御クラッチの消費電力を低減し、走行性能をそのままに燃費性能の向上を実現しています。また路面状況の変化によっては瞬時に後輪にもトルクを配分して走行安定性を高めます。なお、X-MODE作動時やSI-DRIVEのSモード選択時は開放制御は実施しません。

注1:メーカー装着オプションのサンルーフを選択し、車両重量が1680kgとなった場合は2030年度燃費基準85%達成

注2:GWP=Global Warming Potential(地球温暖化係数)

注3:フロン法において、乗用車用エアコン冷媒は、2023年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められています。

◆燃費消費率は定められた試験条件のもとでの数値です。したがって、実際の走行時には、気象、道路における交通の混雑の状態、運転方法に応じて燃費消費率が異なってきます。

◆WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは高速道路等での走行を想定しています。

◆燃料消費率はインテリジェントモード時の数値です。

■自工会目標適用除外部品 *1:鉛(バッテリー(リサイクル回収ルートが確立されているため除外)) *2:ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、HIDヘッドランプ(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)

■CO₂排出量は燃費からの換算値です。



低燃費+低排出ガス性能の向上のために

SUBARUは、力強い走りと燃費性能、低排出ガス性能を両立するための取り組みを積極的に行っています。

○エンジンの高効率化、パワートレインの最適化、軽量化

○SI-DRIVE等、低燃費走行へとドライバーを導く装備の搭載

燃費基準達成レベル	2030年度燃費基準85%達成	Premium S:HEV EX*
	2030年度燃費基準80%達成	Premium S:HEV Premium S:HEV EX
低排出ガス車認定レベル	平成30年基準50%低減	全車

*メーカー装着オプションのサンルーフを選択し、車両重量が1680kgとなった場合。



2030年度燃費基準
85%達成



2030年度燃費基準
80%達成



平成30年基準
50%低減

車室内VOC*の低減

鼻、のどなどへの刺激の原因とされるホルムアルデヒド、トルエン等の揮発性有機化合物を低減するために、車室内の部材や接着剤を見直すことで、その揮発性を抑制しました。また、厚生労働省の定めた13物質の室内濃度指針値を下回るレベルとし、車室内の環境に配慮しました。

*VOC=Volatile Organic Compounds(揮発性有機化合物)

生産における環境負荷の低減

SUBARUは、工場から排出される廃棄物の最終処分量をゼロレベルにする「ゼロエミッション工場」化をすすめています。また、生産における省エネルギー化、水使用量の低減など、環境に優しいクルマづくりをすすめています。

リサイクル性の向上

リサイクル性に優れたPP材を内外装部品に積極的に使用しています。

■リサイクル料金表

●自動車リサイクル法により、下表のリサイクル料金が別途必要になります。

●リサイクル預託金を預託済みの自動車を、中古車として譲渡する場合には、車両価値金額に加えリサイクル預託金相当額を新所有者からお受け取りになることにより、リサイクル預託金の返金を受けることができます。

車種	リサイクル預託金				資金管理 料金	合計
	シレドダーダスト 料金	エアバッグ類 料金	フロン類 料金	情報管理 料金		
Touring Limited Limited Style Edition	8,980円	2,590円	0円	130円	290円	11,990円
Premium S:HEV Premium S:HEV EX	12,650円	2,600円	0円	130円	290円	15,670円